



ゆづりは

堺市立図書館だより

第15巻 第4号 (通巻57号)
 発行日 令和3年3月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 FAX 072(244)3321
 URL <http://https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/>

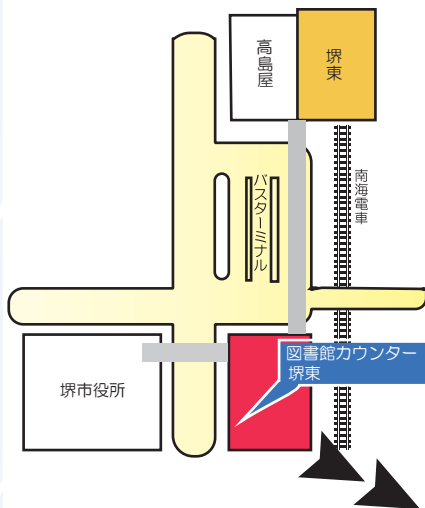
図書館カウンター堺東

4月2日オープン!

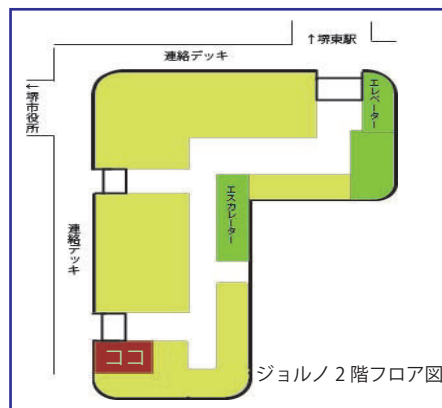
令和3年4月2日(金)、堺東駅前ジョルノ2階に「図書館カウンター堺東」がオープンします。

これまでの図書館と異なり閲覧用の図書や雑誌はありませんが、朝8時から夜9時まで開いていて、予約した資料の受取ができます。また、返却ポストは24時間利用でき、ほかの堺市立図書館で借りた本も返却ができます。館内の検索用端末を使って本の予約もできます。

忙しい方や、なかなか図書館に行く機会がないという方も、是非ご利用ください!



開館時間：午前8時～午後9時
 休館日：毎月第1・第3木曜、
 年末年始、
 ジョルノ休館日



南海高野線「堺東」駅から南200mジョルノ2階
 〒590-0028 堺市堺区三国ヶ丘御幸通154
 問い合わせ先：072-244-3811(中央図書館)

目次

図書館カウンター堺東 4月2日オープン!	…1
この本で解決 『郵便配達を調べる!』	…2
美原図書館ティーンズエリア 『fromTEENS AREA』	…2
レファレンス協同 データベースをご存じですか?	…2
シリーズ堺の〇〇 寺社『龍神堂』	…3
図書館に無料公衆 無線LANが入りました	…3
司書のイチ押し 『これが物理学だ!』	…4
堺市立図書館電話番号一覧	…4

ゆづりは

とは...

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて
譲り葉の
ゆづりあとに
また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を超えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。





郵便配達について調べる!



「はがきがどうやって配達されるのか、4歳の子にわかる本はありませんか?」という質問を5年程前にいただきました。そのときお渡ししたのは、平成4年度、小学校低学年に「生活科」が導入されるのに合わせて刊行された『生活科ブック・はたらく人びと⑨ゆうびんきょく』（1990年刊）でした。写真は少々古いものの、郵便物の流れが写真と簡単な文章で説明されており、大人が説明を補えば幼児にも理解できそうです。最近の絵本では、『ゆうびんです!』（2018年刊）があります。

同じテーマの本を何冊か見ると、理解度や興味に応じた本を見つけることができます。「郵便」を例にすると、貯金や保険、歴史などまで解説したもの、郵便局での職場体験が書かれたものなど様々です。『さがしてみよう! まちのしごと③ごみ収集・浄水場のしごと』（2015年刊）では「切手ができるまで」をお仕事レポートとして取り上げています。『知ってる? 郵便

のおもしろい歴史』（2018年刊）は大人にも読みごたえがあります。

児童書は大人にとってもわかりやすく、知識の概要を知るのがに合っているため、何かを知りたいときは、児童書の本棚もご覧になることをお勧めします。内容によっては、いろんな本棚に分かれていますので、職員にお気軽にお尋ねください。

『生活科ブック・はたらく人びと⑨ゆうびんきょく』

（菊池 東太/写真 小峰書店 1990）

『ゆうびんです!』

（日本郵便オフィスサポート株式会社/作 フレーベル館 2018）

『知ってる? 郵便のおもしろい歴史』

（郵政博物館/編著 少年写真新聞社 2018年刊）



美原図書館ティーンズエリア 『from TEENS AREA』



美原図書館は、ティーンズエリアに中高生に人気の小説や、部活、趣味の本、進路の本などを6,000冊以上常設しています。本を読みたい、調べ物をしたときはティーンズエリアを活用してください。

また、ティーンズのみなさんと図書館を結ぶ年4回発行の情報誌『from TEENS AREA』を発行しています。新着本のほかに、毎号特集を組んで様々な本を紹介しています。

これまでに「スポーツの秋? 芸術の秋? やっぱり、部活の秋でしょ!!」「憂鬱な気分をふっとばせ!」「飯テロ~空腹時に読むな、キケンだ!~」「本の一行目にスポットをあててみました。」「本の最後の一文にスポットをあててみました。」などのテーマで本を紹介してきました。

『from TEENS AREA』は図書館ホームページにも掲載しています。下記アドレスからご覧ください。

<https://www.lib-sakai.jp/teensarea/TeensArea.ht>



レファレンス協同データベースをご存知ですか?

レファレンス協同データベースは、国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している、調べ物のためのデータベースです。全国の公共図書館、大学図書館等で受けた様々な質問とその回答、調べ方等が集められています。キーワードや資料名による検索のほかに分野別にみることもできるので、わからないことを調べるときだけでなく、雑学として楽しむこともできます。

堺市立図書館は今年、年間データ登録件数により、データベースを運営している国立国会図書館から礼状をいただきました。堺に関する事例なども多数登録していますので、一度ご覧になってみてください。



レファレンス協同データベース
<https://crd.ndl.go.jp/reference/>
国立国会図書館レファ協公式 twitter
@crd_tweet

シリーズ

堺
の〇〇

寺社 『龍神堂』

龍神堂は、天保6年(1835)に建立された善法寺(大浜通1丁)の本堂として造営されました。『堺市史』によれば「堂は西面三間四方の瓦葺宝珠型の建築で観音開きの扉の室内には正面壇上に厨子を据え、左右に位牌を安置」していたようです。善法寺は明治の廃仏毀釈により廃寺となりましたが、跡地に建てられた旭館(酒造家たちの社交倶楽部として設立)の敷地内に龍神堂はそのまま残されました。しかしその場所に国道26号線が通ることになり、昭和5年(1930)に現在の場所(堺区竜神橋町2丁)に移されました。

この龍神堂が建てられるきっかけとなった逸話が伝えられています。『堺市史』を発行するために収集された史料の中に「龍神堂記録」という天保6年(1835)9月に書かれた文書があります。その内容の一部を紹介します。

堺の港は、昔は三都に劣らず大船小船が鱸(とも)を並べて



『堺市史』第7巻(1930)掲載の龍神堂

自由に出入りし、日本随一の港であることは中国まで聞こえていました。しかし宝永元年(1704)の大和川付け替えのあと、多数の土砂が港に打ち寄せ、水深が浅くなり大型船が港

に入れなくなりました。ひるがえって大坂や兵庫では船の出入りが頻繁にあり羨ましく思っていましたところ、出羽庄内(現在の山形県鶴岡市)の善寶寺(ぜんぼうじ)の龍神尊に祈願す

れば土砂が退散し海底が深くなるとの伝聞から、善寶寺の御僧を招請して天明6年(1786)閏10月から37日間、戎島の慈眼院(じげんいん)において祈祷をしてもらい、満願のうえ秘密の経文を小石に書いて浜辺に埋めた

そうです。また『堺市史』には、江戸時代の文人、木村兼葎堂(きむらけんかどう)の談として、越後国龍澤山善法寺の僧が祈祷して復旧を祈り、閏10月に海上に龍燈が灯り龍神の感応があったという別の逸話が記載されています。



現在の龍神堂

江戸から来た吉川儀右衛門という商人が堺に新しい港を築造することを何度も御役所へ訴え、寛政3年(1791)ようやく許可が出、新港が造られました。しかし土砂の流入が止まらず別の場所にも港を造成することを計画。その折に、かつて龍神尊に祈願し、秘密の経文を書いた小石を埋めたところが不思議と海底が深くなり、千石積の船も入港できるようになり、人々は安堵し龍神尊のご利益のおかげとして、天保6年に善法寺を建立し、龍神堂と絵馬堂を造営したとあります。

その後「龍神」という名は、「龍神橋」「龍神遊郭」「龍神駅」「竜神橋町」など地名や駅名として使われました。

山形県鶴岡市には現在も龍神を祀る善寶寺が存在しています。

参考文献

- 『堺市史』第3巻 堺市役所 (1930年)
- 『堺市史』第7巻 堺市役所 (1930年)
- 『堺市史史料』64(寺院6) 堺市史編纂室 (1930年)
- 『伝説の堺』 松本壮吉/著 歴史図書社 (1978年)
- 『日堺港周辺 歴史探訪』 中井正弘/著 神明神社 (2000年)



図書館に無料公衆無線 LAN が入りました

図書館の所蔵資料とあわせて調べものに活用いただけるよう、無料公衆無線 LAN (Osaka Free Wi-Fi) の設置を開始しました。3月中には市内全12の図書館でご利用いただけるようになります。

〈利用に必要なもの〉

無線 LAN (IEEE801.11ac/g) に接続できる端末
メールアドレス (利用時の登録に必要です)

〈接続方法〉

- ①利用したいパソコン、スマートフォン、タブレットなどの Wi-Fi 接続を ON にします。
- ②アクセスポイント (SSID) で「Osaka_Free_Wi-Fi」を選択。
- ③ユーザーエントリー画面でメールアドレスを登録。
- ④「確認」をタップ (クリック)。
- ⑤注意事項を確認し、「同意する」をタップ (クリック)。

〈注意事項〉

- ・図書館では、端末の貸出はいたしません。
- ・接続は最長で1時間です。継続して利用する際は、接続方法⑤から再度設定してください。
- ・館内の場所によっては接続しにくいところがあります。
- ・端末に十分なセキュリティ対策を施してご利用ください。重要な情報の送信はお勧めしません。
- ・館内に電源は用意していません。バッテリーをご使用ください。
- ・音声を聞く場合はヘッドホンやイヤホンをご利用いただき、キーボードやマウスの操作音にもご注意ください。

その他、詳しくは図書館ホームページをご覧ください。



<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/oshirase/relWiFiServece.html>



ぶつりがく
これが物理学だ！

ウォルター・ルーウィン / 著
東江 一紀 / 訳
文藝春秋

新型コロナウイルスの影響で、大学の講義はオンラインで行われるものが主流になったと聞きます。オンラインでの講義と聞いて私がまず思い出したのが、アメリカのマサチューセッツ工科大学（MIT）の物理学の講義です。ウォルター・ルーウィン教授によって行われるこの講義は、インターネットで公開されており、誰でも視聴することが可能です。この講義は、公開されるとすぐに人気を博し、2007年にはニューヨークタイムズ紙の第一面で紹介されました。なぜ、それほどまでに人気講義となったのでしょうか。この講義を見た多くの人が衝撃を受ける場面は、物理学の原理や法則を確認するために行う数々の実演です。ある回では、振り子に付けた 150kg の鉄球が教授の顎めがけて駆け上がり、またある回ではライフルで水の入ったペンキ缶を撃ちます。学生たちに説明するためだけにそういった実演を行い、「これが物理学だ！」という言葉とともに講義は終了します。日本ではNHKがこの講義の様子を放送していて、私もその番組をきっかけに講義を知りました。

そんな講義を一冊の本にしたものが今回紹介する『これが物理学だ！』という本です。著者はウォルター・ルーウィン教授自身であり、15回分の講義内容に加えて物理学への熱い思いが本になっています。見返しには「振り子の周期は錘（おもり）の重さにかかわらず一定である。錘の上に私が乗っても周期が同じかやってみよう!!」という文

とともに著者が振り子のおもりとなっている写真が掲載されており、こういった実演が行われているのか、その様子を垣間見ることができます。

この講義は教養課程の（物理学を専攻しない）学生のための講義であり、各講でテーマを設け様々な分野について基本的な原理や法則について示されています。この本には、物理学に関する本としては珍しく数式がほとんどでてきません。著者自身の体験談を交えながら、語り口調で説明が進んでいきます。そのため、私はこの本を読み終わったとき一つの物語を読んだ感覚を覚えました。

各講の内容はそれぞれ独立しており、テーマもニュートンの法則をはじめ、光、電気、磁力等多岐にわたるので、自分が興味のあるテーマについてだけ読んでみても楽しめると思います。(T.H)



☎ 堺市立図書館電話番号一覧 ☎

中央図書館	244-3811	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
くすのき号	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
堺市駅前分館	222-0140	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター船松人権歴史館	
中図書館	270-8140	南図書館	294-0123	人権資料・図書室	245-2534
東百舌鳥分館	234-9600	梅分館	296-0025	青少年センター図書室	228-6331
		美木多分館	296-2111		
音声応答サービス	280-0415	ホームページ URL	http://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library/		